

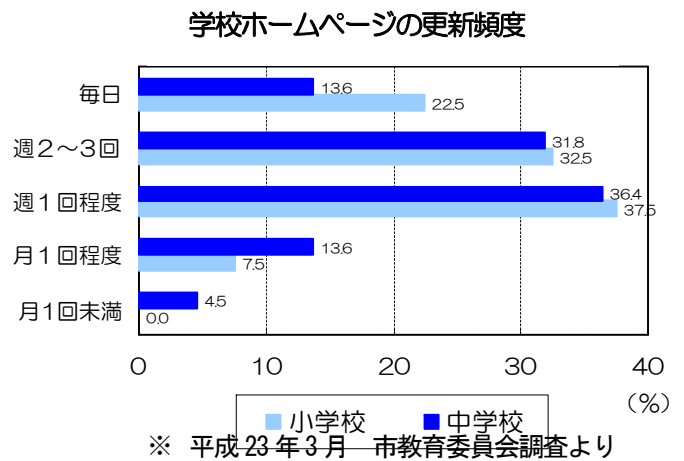
重点13 学校の情報公開の推進

ねらい

学校がより充実した教育活動を行うためには、学校に対する保護者や地域の理解を深め、信頼関係を築いていく必要があります。そのために学校は、保護者や地域へ積極的に情報を発信し、学校における情報公開を進めます。

○ 学校ホームページの運用状況について

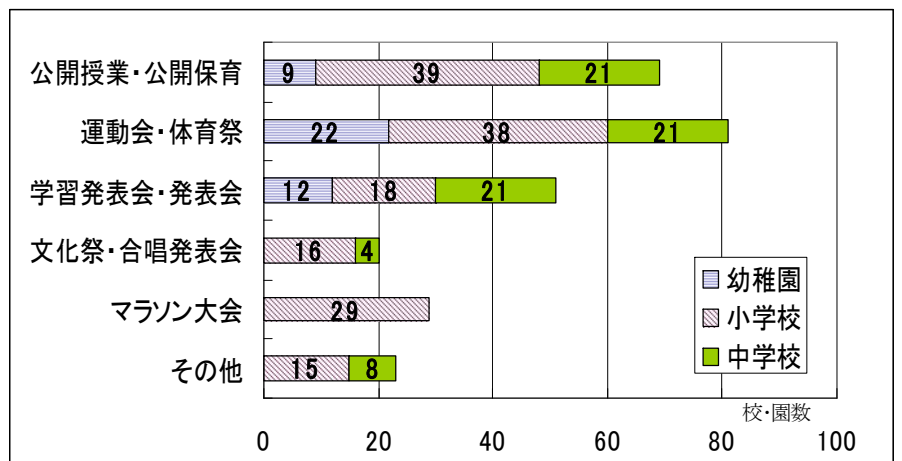
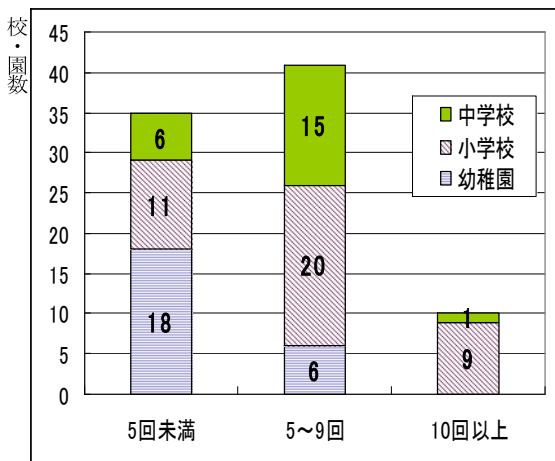
- ・ 中学校 81.9%，小学校 92.5%が、一週間に一件以上の情報発信を行っています。
- ・ 多くの学校が、一週間に一件以上の情報発信を行っており、学校間の格差は少なくなりました。しかし、一部の学校の取組の中で、学年間等の更新の格差が見られます。
- ・ 学校ホームページは、広く学校情報を発信する重要なツールです。今後も、情報発信の重要性についての理解を促し、各学校での格差の解消と、内容面の充実に努めるよう取組を進めます。



○ 学校公開日の実施状況 (※平成23年2月 保護者・地域との協働の推進に係る調査より)

<学校公開日の設定状況>

<学校公開日の設定内容>

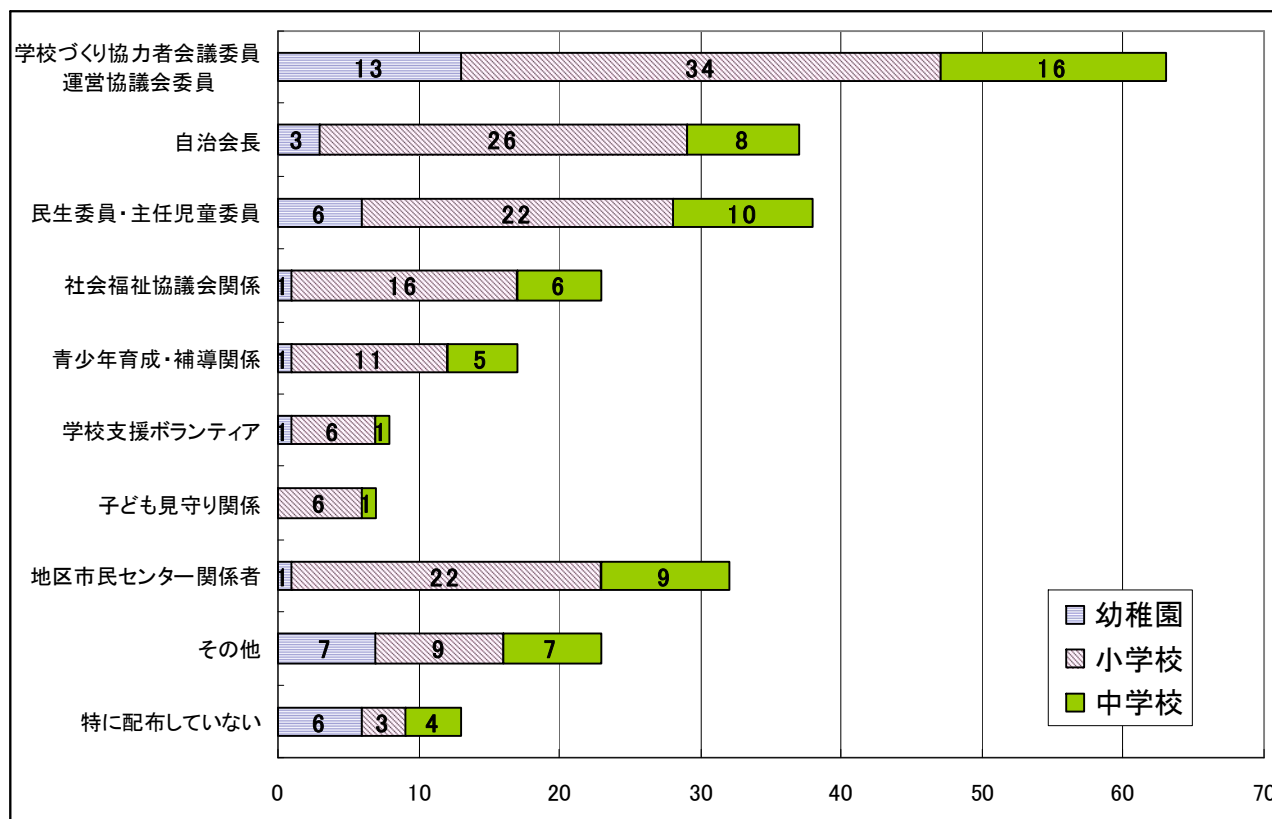


- ・ 保護者だけでなく、地域の人々が自由に参観できる学校公開日等の機会を多く設定し、学校の様子を実際に肌で感じてもらうことが必要です。
- ・ 小学校では、運動会の他にも、児童集会や音楽集会、マラソン大会等の行事を公開している学校が多くあります。
- ・ 中学校では、人権・同和教育に関する講演会や部活動を公開している学校があります。
- ・ 参観だけでなく、児童生徒と授業や活動を共にする参加型の公開を実施する学校が増えてきています。

○ 学校に関する情報提供の状況について

＜学校だより等の配布先＞

(※平成23年2月 保護者・地域との協働の推進に係る調査より)



- ・ コミュニティスクールでは、運営協議会委員への情報提供の一つとして「学校だより」を配付しています。他の小・中学校や幼稚園においても学校・園づくり協力者会議委員に「学校・園だより」を配付する学校が多くなってきています。
- ・ 地域との連携を進めるために自治会長・民生委員等の地域の方々に「学校・園だより」を配付している学校が見られます。
- ・ 学校の状況を理解していただくため、回覧等を利用して、定期的に地域へ情報提供を行ったり、学校だよりを全戸配布したりするなど、積極的に情報提供を行っている事例もあります。
- ・ 地域の広報誌に学校の様子を掲載していただいたり、地区市民センターの窓口に配布用の「学校・園だより」を置いたり、広く情報提供を行う方法を工夫している事例もあります。
- ・ 中学校区の関係校・園や児童館、地区市民センター等の関係機関に「学校・園だより」を配付し、連携に努めている事例もあります。

今後の方向性

- 学校が情報発信を日々積み重ねていくことは、保護者や地域と学校との協働や学校づくりへの参画を得るための土台となります。そのために、学校自らが行動して、学校・園に対する正しい認識と正当な評価を得ることができるよう、学校・園の情報や教育活動について広く情報を提供していく必要があります。
- 学校行事等のイベントだけではなく、普段の授業の中で大切に取り組んでいることを中心に、情報発信を日々積み重ねていくことが大切です。その上で、学校・園だよりや学校ホームページ等、様々な方法で「学校・園づくりビジョン」や重点目標等についてしっかりと説明し、アピールすることが大切です。
- 学校の情報公開の必要性について、教職員対象の研修会等を実施し、啓発していきます。